

クライミングの諸注意・誓約書

クライミングの諸注意

《自己責任が原則です》

クライミングは危険を伴うスポーツです。例え原則やルールを守っていても、時として最悪の結果を招くことがあります。行動の結果が予測できない人や、予測できても自分には受け入れられないと考える人は、クライミングをすべきではありません。同様に、完全な安全を求める人も、クライミングをすべきではありません。アクシデントによって起こりうる事態を、自分が受け入れるかどうかの判断も常に必要とされます。クライミングに完全な安全はありません。

《岩場は危険》

岩場の安全性は誰にも保証されていません。岩には常に、欠損、崩落、崩壊などの危険があります。また、自然環境の中では、時に落雷、突風、高波、地震、津波、害虫、毒ヘビなどの危険もあります。

《道具に関する知識》

すべてのクライマーは自分の使う道具に対する正しい使用法や知識を学ぶ義務を負っています。その知識の欠如は自分と関係者を危険な状況にさらします。正しい用具の知識と使い方を学習しなければなりません。

《ボルトなどの残置支点》

岩場に設置されているボルトや終了点、その他の残置支点の、その時点での強度や信頼性については誰も保証していません。使用可否の判断はすべて、それを使用する一人一人のクライマーが行うものです。すべての残置支点は必ず使用前にチェックすることが最重要です。

誓約書

クライミングジムビーナッツ 御中

私は、クライミングが危険を伴うアクティビティであることを認識しています。指導者の指示を尊重し、ケガや事故が発生しないように努め、安全確保に十分に注意を払い行動していきます。クライミングの危険性を理解した上で、自己のケガや事故(後遺障害や死亡を含む)や他人に対する損害等を与えた場合、自己の責任において処理する事を誓います。

____年 ____月 ____日

____本人署名

____保護者署名